

学校組織の改善

結果の概要

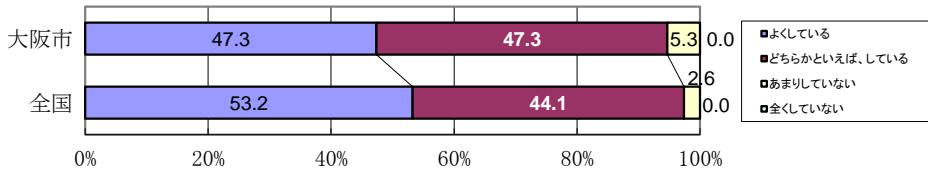
- 「学校運営の状況や課題を全教職員で共有し、学校組織的に取り組んでいる」は、「よくしている」を選択。
- 「学校教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員で共有して取り組んでいる」は、「よくしている」を選択。
- 「授業研究を伴う校内研修を前年度に何回したか」は、「年間13回以上」を選択。

質問番号 質問事項

100 【学校質問紙】

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

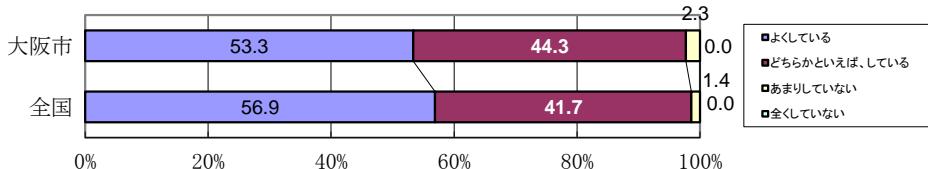
学校 「よくしている」を選択



98 【学校質問紙】

学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか

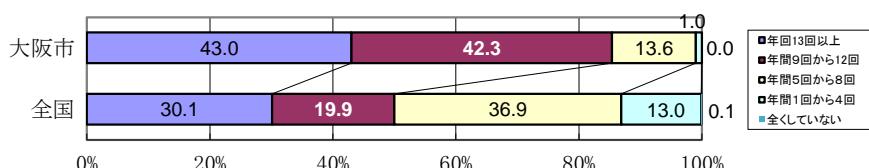
学校 「よくしている」を選択



91 【学校質問紙】

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

学校 「年回13回以上」を選択



成果と課題

- 学校教育目標を明確にし、学校の現状や課題について、職員会議、研修会等で共有する場をもち、組織として取り組めるよう方策を打ち出してきた。
- 単学級ではあるが、全学級、全教員が研究授業をしている。指導主事や大学教授の外部講師の積極的な活用を図り、校内研究の充実に向け努力している。しかし、若手教員へのきめ細かい指導を行うなど、基本的な指導法の研修を繰り返しする必要がある。

今後の取組

- 学校教育目標の達成に向け、今後も学級運営の状況や課題を全教職員で共有し、組織的に取り組む。
- 学力向上推進委員会を推進させ、PDCAサイクルで学校を改善する。
- 学校独自の「授業力向上アドバイスシート」を作成し、授業研究会の際に全員で活用しながら、さらに授業力を高める。